

【様式1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県
取組市町村名 取組団体・企業名	名張市立名張小学校
取組の名称	給食の廃棄食材と牛乳パックを使ってフードペーパー作り
実施時期	6月上旬
取組内容	<p>○対象者：6年児童 72名</p> <p>○実施内容：家庭科の学習でコロナ禍でも行える実習として、毎日給食にでる牛乳のパックと給食に使用した野菜の廃棄部分（キャベツの外葉とにんじんの皮）を使用し、フードペーパー作りをしました。料理を作って食べる調理実習は行えないですが、その中でも調理体験が行えるよう実習を進めました。また、普段は捨ててしまう食材や牛乳パックを再利用することでSDGsにも触れ、学習をしました。</p> <p>・実習の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、事前に教室でガスの使い方や包丁の使い方・切り方を学習する。 2、牛乳パックを水にしばらく浸け、フィルムをはがし小さくちぎる。 3、キャベツは千切り、にんじんの皮は短冊切りにする。（包丁の使い方を学ぶ） 4、切った野菜を少量の油で炒める。 （計量スプーンの使い方・ガスの使い方を学ぶ。炒める体験をする。） 5、ペットボトルに牛乳パックと水を入れしっかり振る。 6、紙すきセットに5を流し入れ、4で模様をつくり、乾かす。 <p>○取組の成果</p> <p>2年間家庭科室を使った実習があまり出来ていなかったため、児童らは生き生きと実習を行っていました。限られた時間ではありましたが、その中でも全員が包丁を使ったり、ガスの火を使ったりする体験ができるよう順番に役割を回している姿やどのようにすればスムーズに進むのか班で考え、実習を進める姿が見られました。その後の食育の時間では、この実習の体験を活かして夏休みに朝ごはんを作ってみたいという児童もおり、貴重な体験になったと感じました。</p>

